

公民館だより なかがわ

第493号

令和5年12月1日
発行 中川地区公民館
TEL.Fax : 679-2501

【一般講座】

「美味しいコーヒーの淹れ方教室」

日時：1月23日（火）10:00～12:00頃
場所：中川地区公民館 集会室
講師：（株）東北萬国社 赤塚 宏之さん
材料費：500円（ケーキ付）
（つり銭のないようにお願いします）

対象：中川地区民
定員：先着15名
（定員になり次第、受付終了となります。）

内容：ハンドドリップの実践
美味しいコーヒーの淹れ方・飲み比べなど

持ち物：必要な方は筆記用具

締切日：1月11日（木）



参加者募集

わんぱく広場

「そば打ち体験教室」

日時：12月26日（火）9:30集合

場所：中川地区公民館 集会室

対象：中川地区の小学生と大人

（定員になり次第、受付終了となります。）

定員：先着10組

内容：500gのそばを打ちます

参加料：500円

※詳細は、小学校配布チラシをご覧ください。



出前スポーツ教室 定員：各15名程度 場所：中川地区公民館 集会室

日 時	種 目	持ちもの
12月12日（火）10時～11時	カローリング	飲み物、屋内シューズ
1月19日（金）10時～11時	足腰元気体操	飲み物、屋内シューズ
2月9日（金）10時～11時	ヨガ&リンパケア	飲み物、屋内シューズ ※ヨガマットかバスタオル

※詳細は、市報に入るチラシをご覧ください。 ※定員になり次第、受付終了となります。

体験スポーツ教室 「トランポピクス 体験会」

日時：12月19日（火）
14:00～15:00

場所：中川地区農業者等
トレーニングセンター

対象：中川地区民 20名
（定員になり次第、受付終了）

参加料：無料

※詳細は、地区回覧チラシを
ご覧ください。

お申込み・お問合せ：中川地区公民館（☎679-2501）

12月・1月 行事予定



12/1（金）市報・館報 三者会・会長会	1/4（水）仕事始め 市民新年祝賀会
12/4（月）中川食改「地区健康教室」	1/5（金）会長会・公民館運営協議会
12/5（火）大掃除	1/9（火）市報・館報 中川地区新年祝賀会
12/8（金）そば打ち教室	1/10（水）粋いき倶楽部（職員不在時間あり） 福祉村だより編集委員会
12/12（火）出前スポーツ教室「カローリング」	1/12（金）パソコンクラブ
12/15（金）パソコンクラブ 中川地区表彰委員会	1/13（土）～1/14（日）少年少女ミニバスケット大会
12/16（土）しめ飾り作り	1/16（火）そば打ち教室
12/19（火）体験スポーツ「トランポピクス体験会」	1/19（金）出前スポーツ教室「足腰元気体操」
12/22（金）一般講座「フラワーアレンジメント教室」	1/23（火）一般講座「美味しいコーヒーの淹れ方教室」
12/26（火）わんぱく広場「そば打ち体験」	1/26（金）雪と遊ぶ会
12/29（金）～1/3（水）公民館休館	

詩吟教室（火曜日）12/5、12、19
ラージピンポン愛好会
（木曜日）12/7、14、21、28

スポーツ麻雀愛好会
（木曜日）12/14
（土曜日）12/2、23

中川福祉村文化産業まつり 開催！

11月3日(金)・4日(土)の2日間、第39回「中川福祉村文化産業まつり」が開催され、初日は驚くほどの晴天の中、多くの来場者で賑わいました。開会式には祝日にも関わらず、来賓の方々にご参加いただき、また市長よりメッセージもいただきました。平成上山藩小銃大砲隊の祝砲を合図にテープカットが行われ、公民館前では毎年すぐに完売してしまう金谷の野菜販売、中川農業者等トレーニングセンターの中では、JA 上山北支店さんのご協力で丹精込めて育てられた農産物品評会や、中川地区民、各施設・各学校からの素敵な作品がたくさん展示され、見ている方々からは「素敵だね〜」「すごいね〜」の声が聞こえてきました。また恒例の「大抽選会」も、喜んでもらえるような賞品を取り揃え、大いに盛り上がる事ができました。地区民の方々からご提供いただいた品物でのバザーコーナーも大好評となりました。2日間、準備から後片付けまでお手伝いいただいた関係者の皆様、作品出展・バザー品を提供していただいた地区の皆様、そしてご来場いただいた皆様、本当にありがとうございました。



【一般講座】「フラワーアレンジメント教室」



11月2日(木)、一般講座「フラワーアレンジメント教室」が開催されました。「中川福祉村文化産業まつり」に展示する作品ということで、講師であるつかさ花店さんより、いつもよりもたくさんの種類のお花と器を準備していただきました。先生に手ほどきを受けながら、それぞれ個性的な器にバランスを考えながらお花を飾っていき、とっても素敵な作品が出来上がりました。展示の当日も先生よりきれいに飾り付けて並べていただき、さらに素敵な展示となりました。



ウォーキング「蔵王高原坊平コース」

10月27日(金)、第7回ウォーキング教室は『蔵王高原坊平コース』に会員13名の参加で行われました。中川地区を指導してくださってる石井さんを講師に迎え、秋らしい季節の中、いざ出発！木々の葉は赤と黄と緑と色鮮やかでとても綺麗で心の中に癒しをくれている感じがしました。一步一步ゆっくりと歩き、話を聞きながら今年最後のウォーキングを楽しんできました。来年もまた皆さんの参加をお待ちしております。



たくさんのなめこが生まれました！



中川小学校とのふるさと学習事業として、毎年4月に中川小学校の3年生が「里山ウォーキングときのこ作り体験教室」を行っています。昨年4月に、現在の4年生が植菌した木(なめこの植菌をしてから生えるまで1年以上かかるため。)にたくさんなめこが生えたので、なめこがどうやって生えているかを観察してもらうため、館長より小学校へ運んでもらいました。



自衛消防訓練



11月6日(月)、「1階図書室のストーブが異常燃焼し、周囲の可燃物に引火し延焼」という設定で、自衛消防訓練を行いました。今回も、グラウンド・ゴルフ愛好会の会員さんにも参加していただき、消火訓練が行われました。館長より、火事を出さないことはもちろん、日頃からの訓練と心掛けが必要との助言をいただいて、改めて訓練の大切さを実感いたしました。

皆様も家庭での自主訓練や消火器の点検等を行ってみてはいかがでしょうか？これからますます寒くなりますので火の取り扱いにはくれぐれもご注意ください。

【一般講座】「第2回 初心者スマホ教室」



11月10日(金)、ソフトバンクさんより講師3名に来ていただき、「第2回初心者スマホ教室」が開催されました。第1回の教室も大変好評でしたが、今回はLINEの使い方ということもあり、より多くのお申し込みをいただきました。講師の方の楽しいトークとわかりやすい説明で、はじめてLINEを体験した方もいらっしゃいましたが、「楽しかった～」との声をいただき、これから使用するきっかけになればと思います。



粋いき倶楽部



11月14日(火)、第7回粋いき倶楽部「映画鑑賞と施設見学」が開催され、午前中はフォーラム山形で『おしよりん』を鑑賞しました。北乃きい主演、小泉孝太郎、森崎ウィンらの共演により、明治時代の福井県を舞台に、メガネを知らなかった人々が全てをかけてメガネ作りに取り組む姿、夫婦愛、家族愛などを描いた作品で、会員の皆さんから「よかったあ」「感動した～」との声が聞こえてきました。午後からは、天童市にある「山形新聞印刷センター」を見学しました。新聞を読む時のポイントについての説明を受けた後、全自動化されている輪転機や巨大ロール紙がある立体紙庫を見学し、また、東日本大震災の教訓により、新聞の印刷が継続できるように災害に強い工場となっているとのことで、地下の免震構造などを見学しました。会員の皆さんも、熱心に見学し、手元に新聞が届くまでの様々な工程に理解を深めることができ、充実した一日となりました。



山形新聞印刷センター 2023年11月14日

11月17日(金)、中川地区のウォーキングガイドの石井さんをお迎えし、会員11名の参加でウォーキング反省会が開催されました。今年度はコロナの緩和もあり、いろいろな所に行けたことで、楽しんでいたようです。来年度も皆さんの意見をもとに計画を立て、一緒に楽しく健康増進を目指してウォーキングが出来ればいいなと思います。石井さん、会員の皆さん、ありがとうございました！！

「ウォーキング教室」反省会



「ざる菊」華やかに



今年も、公民館前が菊の花で華やかになりました。中川地区に所縁のある 山川 正さんのご厚意で、公民館前と中川農業者等トレーニングセンター前に「ざる菊」を置いてくださいました。「暑い夏だったせいか、なかなか育たない」とおっしゃっていましたが、真っ白に彩られた菊が目をはき、来館者を楽しませてくれました。山川さん、ありがとうございました！

おらほの中川〈地域の話題シリーズ 第百八十二弾〉

「昭和考、問わず語り（その34）」

甲石地区 高橋 正之

中国における日本の排斥気運が強まるなか、日本陸軍は、昭和六年六月、一年後を目途に満蒙での武力行使を可能とする「満蒙問題解決方針の大綱」を決定した。

本稿では、その直前の動きを記述する。

〈中国国内で陸軍幹部の殺害事件が発生〉

「満蒙問題解決方針の大綱」が陸軍省・参謀本部首脳に承認を得て、関東軍にも伝達された同時期の六月二十七日、参謀本部の中村震太郎大尉が中国軍によって殺害される事件が発生した（発表は八月十七日）。また七月二日には、満州の万宝山において朝鮮人農民と中国人農民の衝突が発生した。（この二つの事件は、日本の国民感情を盛りだしたと言われている。）

〈日本国内でも、対応を求める声が強まる〉

昭和六年六月末には、東京で朝鮮鉄道株式会社、満鉄、参謀本部関係者による交通連絡会議が開催され、満鉄の十河信二理事より、非常時の交通輸送計画が必要と説き、関東軍の武力行使が近いことをほのめかした。

七月十七日、陸軍士官学校二十八期から四十二期にいたる小桜会五十三人が集い、元老西園寺公に「檄文」を送付する動きがあった。

七月下旬には、満州青年連盟が満州独立に関するパンフレットを五千部内地で配布し、遊説を行った。（以上、「軍国日本の興亡」猪口正道著、中公新書より）

〈天皇が軍紀の粛正を下命〉

以上の事態を一番憂慮していたのは昭和天皇であり、側近の宮中グループでした。

昭和六年六月四日、天皇は、南次郎陸軍大臣（写真①）を呼び、「軍は軍規をもって成り立っている。軍規がゆるむと大事を引き起こすおそれがある。軍紀を厳正せよ」と下命。また若槻礼次郎首相（昭和六年四月発足）にも「満蒙問題については、不穏な言動が盛んだが、日中親善を基調にする」とを

わすれないように」と注意を促した。（「昭和史」半藤一利著、平凡社より）

〈陸軍首脳会議で板垣が満蒙問題の至急解決を発言〉

昭和六年七月から八月初めにかけて関東軍司令官に赴任する本庄繁に随行するため板垣関東軍高級参謀が帰国し、八月三日には、岡村寧次編制課長（一タ会員）と二人きりで会っており、「鉄道爆破の九月決行」について情報交換が行われたことが考えられる。

八月四日、軍司令官、師団長会議が開催され、終了後、林銑十郎朝鮮軍司令官、本庄関東軍司令官、真崎甚三郎台湾軍司令官と陸軍中央幕僚との会合が行われた。林に随行してきた朝鮮参謀・神田正種の戦後手記によれば、板垣から満蒙問題の「至急積極解決の要」が述べられ、応答がなされた。そして二次会では、残った一般課員などの間で「中央指令を待っていたのでは到底だめだ、出先でやれ、やった以後は俺たちが頭（上層部）を動かす」との申し合わせがなされたという。（「昭和陸軍全史」川田稔著、講談社現代より）

〈天皇が再度軍紀の厳重を申し渡す〉

軍部は、その後ますます陰謀の傾向を強めていきますが、宮中グループは、軍部を抑えなくてはと考え、九月十一日、再び天皇が南陸軍大臣を呼びつけ厳しく注意し、軍規を厳重に守るようにと申し渡します。

（写真①）



南陸軍大臣は、「もっともです」と応え、さらに同日に元老・西園寺公より「こと外交に関しては、すべて外務大臣に任すべきであって、軍が先走ってとやかくいうのは甚だけいからん」と、きつく叱られたといわれています。これに南陸相は、「責任をもって注意いたすつもりであります。」と答えたとありますが、西園寺は、それを聞きながら「まるで暖簾に腕押しのようにであった」と言っている（原田熊雄日記）。

陸軍としては、しきりに弁明しながらも従うつもりはなかったようです。（中略）当時、南陸相、参謀総長・金谷範三大将を中心に陸軍は、関東軍の方針を是認し、その作戦計画に基づいて九月二十八日に謀略による事件を起こし、それを契機に満蒙領有計画を強力に押し進めると決めていたからです。（「昭和史」半藤一利著、平凡社刊より）

〈南陸相が天皇の下命を重く受け止め、計画の延期に走る〉

ところが、南陸相は、九月十一日の天皇や西園寺に叱られてへなへなとなつて「このまま突っ走るとたいへんな事になるのではないか、内外の理解の”内”のほうのトップである天皇陛下が猛反対となれば、計画は延期したほうがいいのではないか」となったのです。

九月十四日、南は、金谷参謀総長と相談し、関東軍に思いとどまるよう、電報では意を尽くせないとして建川作戦部長を満州に派遣することを決めます。建川は板垣らと十分相談しているもので、いまさらトップには賛成はしかねたでしょうが、命令ですから、飛行機で行けば速いものを、しぶしぶ東京駅から汽車に乗ってゆつくりと、出発します。（「昭和史」半藤一利著、平凡社刊より引用）

（次回は、柳条湖（満州事変）の勃発について記述する予定です。）